



## 10年目を迎えた AMDA モンゴル事業！

2006年 AMDA 菅波代表がモンゴル政府関係者に AMDA の活動を紹介し協力を求め、2008年より AMDA は様々な事業を展開してきました。

### AMDA 医療と魂のプログラム

2008年よりモンゴル仏教総本山ガンダン寺における平和祈願祭。これまで、宗教法人大本、天理教、日蓮宗のご協力をいただき、ガンダン寺のご住職とともに世界平和を祈願しています。

### AMDA 無料白内障手術事業

2009年の事前調査を踏まえ2010年にはモンゴル眼科協会と協力してハルハ河戦争（ノモンハン事件）に関係のある高齢者24名に無償で白内障手術を提供しました。

### 子どもの目を救え！プロジェクト

全人口の1/3が18歳以下というモンゴルでは子どもの目を守る事業をモンゴル眼科協会からの要請に応え2010年から実施しています。

### モンゴル眼科医研修

モンゴル眼科協会会長をはじめとする眼科関係者の研修を2011年に岡山、東京で行いました。

### おかやま国際塾

岡山大学の学生8名がAMSAモンゴルの学生たちとともに交流しました。

### AMDA 菅波代表、 モンゴル国より北極星勲章を受章

2014年、同国大統領が外国人に授与する最高位の勲章である北極星勲章が菅波代表にフレルバータル駐日大使より授与されました。

# AMDA

## GPSP

Global Partnership

for Sustainable Peace

世界平和パートナーシップ構想

## モンゴル事業

## 2017

特集



2008年医療と魂のプログラム



2010年白内障手術事業



2011年おかやま国際塾

## モンゴルの子どもたちの目を救え！

### 眼科健診啓発プロジェクト 2017

AMDA は、モンゴルで 2008 年以來、子どもの目の健康を守るために、首都ウランバートル市内や郊外での眼科健診を行ってきました。また同時に就学前子どもの眼科健診を制度化することの重要性を関係各方面に訴え続けてきました。

本年も人類愛善会モンゴルセンターのご協力のもと、9月1日にウブルハンガイ県グチンウス村(ウランバートルから車で11時間)において川崎医療福祉大学感覚矯正学科の高崎裕子先生を中心に眼科健診が行われました。今年は、113名(5~17歳の子ども78名、成人は35名)が健診をうけ、そのうち斜視は5名、病院への紹介が必要であった人は7名いました。



2016年就学時眼科健診

### 子どもの眼科健診

#### ついに制度化を実現！

9月5日には、保健大臣に面会し、菅波代表と両国の事業関係者でAMDAがこれまで子どもの眼科健診の制度化を目指して活動を続けてきたことなどを報告しました。

その後の保健省でのミーティングでは、高崎先生から、過去3年間のAMDAの健診結果として、弱視、乱視の割合が世界の平均値より高いこと、めがねをかければ解決できる子ども半分はいることなどが示されました。そして菅波代表からは、日本の学校健診の取り組みを活かすことが提案されました。

その10日後の9月15日には、保健省において記者会見が行われ、正式に子供の目の日が制定され健診が行われることが全国に発表されました。



2017年保健省での子どもの眼科健診啓発検討委員会



2017年9月 保健省記者会見

## 2017年 AMDA モンゴル事業

### GPSP (世界平和パートナーシップ) 医療と魂のプログラム

#### ガンダン寺院で「平和祈願祭」

---

9月3日、モンゴル仏教総本山ガンダン寺院で GPSP 医療と魂のプログラム「平和祈願祭」がおこなわれました。モンゴルでは、ハルハ河戦争（ノモンハン事件）で多くの方々の尊い命が失われました。二度とこのような悲惨な歴史が繰り返されないよう、2008年より毎年平和祈願祭を開催し、今年で10年目となります。今年も、ガンダン寺院と宗教法人大本の方々に加え、AMDA ボランティアの矢部ご夫妻がご参加くださいました。

一人でも多くの人たちのためにそれぞれの立場で力を尽くしていくことを参加者一同、心に誓いました。

【GPSP (世界平和パートナーシップ) 医療と魂のプログラム】第二次世界大戦の犠牲者には、宗教者による慰霊祭を、そしてその家族には AMDA の医療サービスを提供する、宗教者と AMDA の合同事業です。なお、宗教者の皆さまは自費でこのプログラムにご参加いただいております。



2017年ガンダン寺平和祈願祭参加者



右手に聖水、左手に眼球を持つ高さ25mの開眼観音像

#### ガンダン寺少年僧のための

#### ガンダンロータスプロジェクト

---

AMDA では2014年より、ガンダン寺で修行を行う少年僧を対象とした支援事業を行ってきました。過去3年間は、衣類や文房具の支援でしたが、来年度からは、「お腹いっぱい食べたい！」という少年僧からの切なる訴えに応じて、食糧支援を行うことに決定しました。



2017年平和祈願祭の後の少年僧との交流会

## 「Land of 果樹サジ」構想

### ウブスハンガイ県グチンウス村

昨年、グチンウス村ナンギルラクチャー村長と約束したサジ（正式名はシーバックソーン）の植樹プロジェクトが動き出しました。サジは、ユーラシア大陸の中北部に野生するグミ科の植物でビタミン C が豊富でビタミン A やビタミン E を含みます。今年 5 月に 1 ヘクタールに 1000 本植樹されました。目的は、沙漠緑化と村の地域振興と人材育成です。村人全員が何等かの形でこの事業に参加しています。



多くの村人が参加したサジの植樹



井戸も村人自ら掘りました

菅波代表と村長（右）  
人類愛善会モンゴルセンター  
会長（左）



### モンゴル国立大学医学生への菅波奨学金

AMDA 菅波代表は、2009 年よりモンゴルの医学生に対して学費の一部として奨学金を授与しています。2017 年度もモンゴル国立大学医学生 5 人（2 年生から 6 年生、各学年から 1 名）に対し、大学関係者と AMSA モンゴル、AMSA モンゴル卒業生同席のもと、授与式を行いました。授与式後には、AMSA モンゴルの活動報告があり、医学生自らが企画した巡回診療等の事業の紹介がありました。



2017 年 菅波奨学金授与式

### AMSA モンゴル学生への講演

ウランバートルエマージェンシーサービスでの救急医療とモンゴル国立医科大学における内視鏡治療セミナーの為に訪蒙した佐藤拓史医師(東亜大学医療学部教授、AMDA 南海トラフ災害対応プラットフォーム運営委員会副委員長、AMDA 緊急救援 (ER) ネットワーク登録医師)は、9月8日、モンゴル国立医科大学において、AMSA モンゴルの学生たちに向けて、自身のこれまでの海外での医療支援活動について講演をおこないました。アフガニスタン、スーダン、カンボジア、ネパールなどでの活動に加えて、2016年の熊本地震の緊急医療支援活動について英語で説明をし、学生たちに医療の届かない人達が未だ多くいる中で医師としての役割と責任を果たす大切さを訴えました。講義終了後には、実際に海外でのボランティアに参加したいと申し出てくる学生もあり、学生たちの医療人としてのモチベーションを高める貴重な機会となりました。



### モンゴル、ウランバートルエマージェンシーサービス103での研修

ウランバートルエマージェンシーサービス103(以下103)との協力協定に基づき、9月9日と10日の2日間、佐藤医師による救急医療に関するセミナーを実施しました。9月9日のセミナーには、ウランバートル市保健局所属の20の医療機関から幹部、リスクマネジメントチームを中心に約100名の救急医が参加しました。セミナーの冒頭、ウランバートル保健局ムッフデルテル医療サービス部長からAMDAが日本モンゴル友好病院において103の駐在所設置に協力し、救急車と医師が常時待機できていることに対する謝辞が述べられ、このような医療技術交流はお互いに協力して進めていくべきとの発言がありました。佐藤医師による研修は、日本の災害医療の歴史から始まり、外傷治療についての説明、胸腹部超音波診断の実技などを含めた指導が行われ、10日には、救急車に現地の医療チームとともに同乗して実地研修が実施されました。103のプレブダッシュン所長から、「これまでのAMDAの協力に加え、この度の佐藤医師の大変有意義なセミナー実施に心から感謝している。できれば来年も継続して佐藤医師に講義をお願いしたい。」というリクエストがありました。これに応じてAMDAでは佐藤医師の救急医療セミナーを2019年度まで毎年夏に実施することを約束しました。



### モンゴル国立医科大学内視鏡研修

AMDA は、モンゴル国立医科大学との協力協定に基づき、内視鏡に関する研修をモンゴル国立医科大学で行いました。日本が誇る内視鏡の最先端技術である内視鏡治療や診断技術を9月11日、12日、2日間にわたって、同大学内視鏡チームに伝えました。来年早々に内視鏡センターが開設される同大学では、「来年大学病院が新設するが、まだ技術的には佐藤先生から学ぶことが大変多いので、できれば毎月でも来てほしい」と、この研修の必要性と継続を熱望されました。これに応じて、2019年まで毎年夏に佐藤医師による内視鏡研修を実施することをモンゴル国立大学に約束いたしました。

### ダンバダルジア地区での超音波検査

日本モンゴル友好病院と周辺地域のファミリーホスピタル合同で、同病院近隣に住む3件を訪問し、腹部に異常のある方を対象に超音波検査を実施しました。

AMDA モンゴル支部長も同行し、佐藤医師の確かな診断技術から多くの事を学んだと感嘆していました。

